

市内学校施設の耐震化状況

近年、東日本大震災やその発生が危惧されている南海地震から、さまざまな施設の耐震性が改めて見直され、その対策として建物の耐震化が行われています。本市でも、平成22年度から市内学校施設に関して学校施設耐震化事業を行ってきました。その現在の状況などをお知らせします。



校舎や管理棟など、全面的な建て替えが行われ、平成23年6月に全工事が完了した川之江小学校

「耐震化」とは

そもそも「耐震化」とは具体的にどのような事なのでしょう。

昭和56年に建築基準法が大きく改正されて新耐震基準が導入されました。これにより、改正以前の旧耐震基準によって建てられた建物の耐震診断を行い、そこで耐震性が低いとされた建物を補強したり改築したりし、新耐震基準をクリアさせること、それが「耐震化」です。

学校施設耐震化の意義

学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす場所であるとともに、災害時には地域の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性を確保することは極めて重要です。

本市においても今後30年以内に南海地震の発生する確率が60%と想定されているため、国の目標としている平成27年度までの耐震化完了を目指して積極的に取り組んでいるところです。

耐震化事業の流れ

①耐震診断

本市では、幼稚園7園・小学校19校・中学校7校を設置しています。その中で、どの建物から耐震化を進めるかを検討するための簡易的な調査である優先度調査を行い、その結果を基に平成20年度から平成22年度にかけて、より詳細な調査である「第2次診断」をすべての建物において実施しました。診断した結果、対象となる129

棟のうち65棟について耐震工事が必要となり、それらの内、優先度の高い棟から順に早期完了を目指して耐震化を図っていきます。

②耐震補強設計

耐震補強設計とは、耐震診断の結果、耐震性能が基準に満たないと判定された建物を、基準を満たすよう行う設計のことです。

③耐震工事（補強または改築）

耐震工事とは、耐震診断の結果、耐震性能が基準に満たないと判定された建物を、基準を満たすように補強または改築することです。

学校施設耐震化のこれから

平成25年9月現在で、耐震化が必要とされた市内65棟のうち、合計38棟に対して耐震化事業が実施されました（うち27棟が工事完了、残り11棟が工事中）。

学校施設の安全性の確保は、普段学校に通う子どもたちにとってだけでなく、災害時にはそこを避難場所として活用する事になる私たちにとっても、非常に重要な課題です。市民の安全を守るため、これから学校施設耐震化事業を順次行っていく予定です。

☎教育総務課 学校施設係
28・6044

市内学校施設耐震化工事の状況

実施年度	No.	学校名	建物名	完成時期(年・月)	工事種類
平成22年度	1	川之江小	北校舎	22.6	改築
	2	中曽根小	体育館	23.3	補強
	3	長津小	体育館	23.3	
	4	小富士小	体育館	23.3	
	5	北小	体育館	23.3	
	6	三島西中	部室倉庫	22.9	解体
平成23年度	7	川之江小	管理棟	23.6	改築
	8		南校舎		
	9	寒川小	ランチルーム	23.8	解体
	10	北小	南校舎	23.11	補強
	11	関川小	北校舎	24.3	解体
	12		体育館		
	13	土居中	体育館	24.3	改築
平成24年度	14	金生第一小	南校舎	24.11	補強
	15	金生第二小	体育館	24.8	
	16	松柏小	東校舎	24.8	
	17		南校舎		
	18	豊岡小	北校舎	24.10	補強
	19		体育館		
	20	土居小	体育館	24.8	
	21	川之江北中	北校舎	24.11	
	22	川之江南中	南校舎	24.11	
	23		北校舎		
	24		東校舎		
25	西校舎				
26	三島南中	北校舎	25.2	改築	
平成25年度	27	南小	北校舎	25.10 [予定]	補強
	28		南校舎	26.3 [予定]	
	29	中曽根小	北校舎	25.11 [予定]	
	30	川之江北中	南校舎	25.11 [予定]	
	31		西廊下		
	32		東廊下		
	33		武道場		
	34	川之江南中	武道場	25.6	
	35	三島西中	管理棟	25.11 [予定]	
	36		昇降口棟		
	37		技術棟		
	38	三島南中	旧北校舎	25.10 [予定]	

平成25年9月1日現在、計38棟で耐震化事業を実施済み（平成22年度事業開始以降）※うち11棟は工事中

関川小学校体育館



改築工事前



改築工事後

川之江南中学校校舎



補強工事前



補強工事後